

## 新年度を迎えて、 理事会での事業計画検討など

□平成二八年度農業総合研修会・第十一回TPPに係る拡大研究会を開催  
(二月一八日)

今年度は、事業計画に基づく地方開催として、北見市民会館で開催しました。

講師は、北海道大学大学院農学研究院、准教授東山寛氏をお招きし、演題「グローバル化の中での北海道農業・オホーツク農業の今後の方向」と題して講演していただきました。講演の内容は今号の「特集」に掲載しています。

□日本農業賞・大賞の受賞「北竜ひまわりライス生産組合」の皆様が来所  
(二月三日)

「第四六回日本農業賞」の集団組織の部で大賞を受賞した「北竜ひまわりライス生産組合」の佐藤前組合長、川村組合長をはじめ代表の方たちが受賞報告で来所されました。この賞は、意欲的に経営や技術の改善に取組み、地域社会の発展に貢献している取り組みを表彰するもので、北竜町では、平成一五年に

水稻生産者全戸による「北竜ひまわりライス生産組合」を誕生させており、現在は一四〇戸の生産者で構成されています。

清涼な水源、こだわりの栽培法、システムの調製・保管・出荷により消費者に届けられる「ひまわりライス」は、低農薬栽培が九一％に達しており、さらに二八年度からは施肥レベルを特別栽培並にする「高度クリーン栽培」にもチャレンジしています。併せて生産組合は、町内全域で「生産情報公表農産物JAS」を取得するなど、安全・安心・美味を求める消費者ニーズに対して、関係者全員、町ぐるみでひたむきに伝えるという取り組みも行っており、これらの取り組みが他の農産物の販売促進にも大きく機能し、地域の活性化に寄与していることが高く評価されました。

□ 担い手対策の情報交換で、兵庫県庁とJA兵庫中央会が来所  
(二月一七日)

兵庫県として計画している担い手の確保育成対策の推進にあたり、北海道の現状と取組の具体策を説明して情報交換を行いました。



担い手対策の情報交換会  
兵庫県庁2名・JA兵庫中央会1名

□ 平成二八年度革新的技術開発・緊急展開事業の研究推進会議開催(二月二一日)  
農研機構生研センターから受託した課題について、ホクレン等の研究グループ内で研究推進会議を開催しました。

□ JAカレッジ委託事業研究班会議を開催(三月二日)  
中央会大会議室においてJAカレッジ(北海道農業協同組合学校)から受託した課題の研究班会議を開催しました。

□ 北農五連委託事業報告会を開催

(三月三日、一〇日)

北農五連から受託した課題について、テーマ区分別に報告会を開催いたしました。



北農5連委託事業報告会

□ 北海道農業公社委託事業報告会を開催(三月七日)  
北海道農業公社から受託した課題の報告会を開催しました。

□ 平成二八年度参与会を開催

(三月二三日)

JA北農ビル一九階会議室において、平成二八年度の参与会を開催いたしました。ご出席の参与の皆様から貴重なご意見を多数頂きましたが、今後の事業推進に反映させるよう取り組んでまいります。



北海道農業公社委託事業報告会

□ 第五回理事会を開催

(三月二九日)

札幌全日空ホテル三階において開催いたしました。平成二八年度の事業実施結果報告、平成二九年度事業計画案の審議などをおこないました。

□ ホクレン一〇〇年史編纂支援業務に係る研究班会議を開催  
(三月三一日)

ホクレンから受託した課題の、第三回研究班会議を開催しました。